

$$\bar{p} - 1.96 \sqrt{\frac{\bar{p}\bar{q}}{n}} < p < \bar{p} + 1.96 \sqrt{\frac{\bar{p}\bar{q}}{n}} \dots\dots\dots (3)$$

が得られるわけです。この(3)は、(1)において、 $\sqrt{\quad}$ の中の p を \bar{p} で、 q を \bar{q} で代用した形になっております。

さて、母比率を、(2)の式で区間推定することと、両側仮説の検定を行うこととは、数学的には全く同じことなので、この本では、この母比率の検定を、母比率の区間推定のところで（p 76 問 ），その応用として取り上げました。ただし、この場合、 n が十分大でしたから信頼度95%の信頼区間は、(3)を用いています。

なお、信頼度99%の信頼区間は、(1), (2), (3)において、1.96をそれぞれ2.58に書きかえたものになります。